

そこに人がいます！！

～ 猟銃による人身事故が連続発生～

狩猟に関係のない一般の方が重傷被害にあった事故現場



被害者：山林内で作業中の男性
被害程度：右腕粉碎骨折
被害者までの距離：約8m



被害者：山林内で作業中の男性
被害程度：右腕粉碎骨折
被害者までの距離：約20m



被害者：登山中の女性
被害程度：両大腿部銃創
被害者までの距離：約20m

いずれの事故も、被害者に取り返しのつかない結果をもたらしています。



あなたは見えますか？



被害者の位置を拡大

実際に猟銃による人身事故が発生した現場で、被害者の位置に人を立たせ、狩猟者から見た状況（距離約20m）を撮影した写真です。

全国で、猟銃による人身事故が多発しています。特に狩猟と関係のない方が、狩猟者の「そこに人はいないだろう。」「このまま撃っても大丈夫だろう。」という安易な考えで発射された銃弾により、今もその被害に苦しんでいます。

S T O P ! 猟銃事故

- ・銃を発射する前に周囲の安全を確認する
- ・常に「獲物ではなく人かもしれない」という最悪の事態を想定して慎重に確認する
- ・バックストップがない場所では発射しない

奈良県警察本部